



### ご挨拶

理事長 加我 君孝



皆様の SPIO へのこの1年間の御協力と御支援に感謝申し上げます。

コロナウィルス禍が去り、安心できる日常を取り戻すことができると思われましたが、米国のトランプ大統領が2期目に就任するや否や、世界情勢は混乱を続けており、地球全体が不安な時代になってきました。

SPIO は公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会の英文名 Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology の頭文字をとったものです。最近の動向では日本語名の最後に「頭頸部外科」、英語名で“Head & Neck Surgery”を挿入するのが正確な表現となりますが、それではより長い名称となり、頭文字は“SPIOH”となり、発音が難しくなりますので、これまで通り SPIO と呼ばせていただきたく思います。

SPIO の「精神」は耳鼻咽喉・頭頸部外科学の教育、研究、臨床の各領域を国際レベルに発展させるための支援にあります。これまでの SPIO はさまざまな取り組みをしてきましたが、現在の活動を解説しますと、国際的な援助活動として、海外研究留学への曾田豊二 SPIO 奨学金、わが国の耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室への外国人留学生に対する曾田豊二 SPIO 研究助成金があります。国内向けの活動として、国内の聴覚系の研究者に対する「コストコ SPIO 助成金」、これに加え令和8年度は横山正人先生の御寄附による嗅覚・嚥下系の研究者に対する「SPIO 香り豊かにおいしくゴックン研究助成金」を予定しています。国内外の研究者に対して、毎年、英文誌 Auris Nasus Larynx (ANL) に掲載された原著論文の中から、45歳以下の筆頭著者で優秀な原著論文に対して賞状と賞金(50万円)を贈呈しています。これまでの受賞者の国籍は、日本が23名、海外が3名となっています。わが国で開催される国際学会および国際シンポジウム等にも予算の余裕がある範囲での開催助成を実施しています。

SPIO の活動の原資は寄附金と学会・学術会議などの開催に伴う助成金、賛助会費がそのほとんどを占めています。皆様にはこれまで同様、SPIO への御寄附および学会・学術会議開催にあたって SPIO の活用、賛助会費などの御支援をよろしくお願い申し上げます。

御参考までに SPIO が援助した海外からの留学生の国をまとめて紹介いたします。1996～2024年の28年間、国籍は28ヶ国、総数119名にのびます(男性75名、女性44名)。上位8ヶ国は、多い順に、中国、エジプト、フィリピン、ブラジル、ベネズエラ、台湾、タイ、ベトナムです。留学生の約半分は中国が占めています。欧米からはドイツ、フランス、ポーランド、ハンガリー、ブルガリア、カナダで各国1～2名と少ないですが存在します。アジア・オセアニアのインド、ミャンマー、ラオス、カンボジア、オーストラリア、ニュージーランドからはまだありません。

当財団は、今後とも耳鼻咽喉科・頭頸部外科学および関連分野の発展のために尽力致しますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

### コストコSPIO研究助成金

今年度も、国際的に有意義な研究に対する助成として、以下の3件の研究に対して、各々50万円を助成した。

- (1) AMPA 受容体の解析による一側性難聴聴覚中枢神経回路の変化と可塑性の検討  
(東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 檉尾 明憲)
- (2) 聴神経腫瘍の治療戦略 - 聴力予後を中心とした診療指針の策定 -  
(慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 大石 直樹)
- (3) AR/VR 技術を応用した補聴器順応支援バーチャルトレーニングシステムの開発  
(群馬大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 茂木 雅臣)

### 令和7年度事業報告

- 1 留学生(0名)への研究助成
- 2 若手日本人(3名)への助成
- 3 国際的に有意義な研究への助成(3件)
- 4 SPIO Award の表彰
- 5 国際学術会議等開催助成(5件)
- 6 寄附金募集助成(38件)
- 7 その他(ホームページ、ニュースレター他)

### 令和7年度事業報告及び収支決算報告

6月開催の評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧ください。

### SPIOクラブ

第127回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会の会期中、香取幸夫 会長のご厚意により会場内に SPIO クラブを設け、SPIO の助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

令和8年5月21日(木)・5月22日(金)

9:30～17:00

仙台国際ホテル 6F「楓」